

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：胃癌二次化学療法における PTX+RAM と nabPTX+RAM の有用性を検討する後方視的観察研究

1. 研究の対象

2015 年 7 月から 2022 年 12 月までに胃癌に対して、パクリタキセルもしくはアブラキサン+ラムシルマブ併用療法の治療を受けた患者様

2. 研究期間

研究実施許可日から 2026 年 3 月 31 日まで

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

情報の利用を開始する予定日は、2024 年 8 月 1 日です。

4. 研究目的

本研究では、胃癌の 2 つの標準治療であるパクリタキセル+ラムシルマブ併用療法と、アブラキサン+ラムシルマブ併用療法の通常診療における有用性を比較し、治療に影響を及ぼす因子を検討することです。

5. 研究方法

通常診療で得られた診療情報を収集し、各治療を受けられた方々の背景情報や治療成績を比較し検討いたします。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんのご年齢や性別、胃癌の状態、治療開始時の全身状態や血液検査結果、CT 画像の情報などを収集いたします。また、治療の効果や副作用の種類・程度などを収集します。試料（血液検体や病理検体など）は利用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

予定はございません。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

予定はございません。

9. 研究組織

当院単独での研究となります。

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

研究者の一部に検討する予定の抗がん剤の製造販売企業から研究助成金を受けているものが含まれます。利益相反について院内の手続きに従って管理いたします。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：029-853-3218（平日日中のみ）

当院の研究責任者・連絡先：筑波大学附属病院消化器内科 山田武史